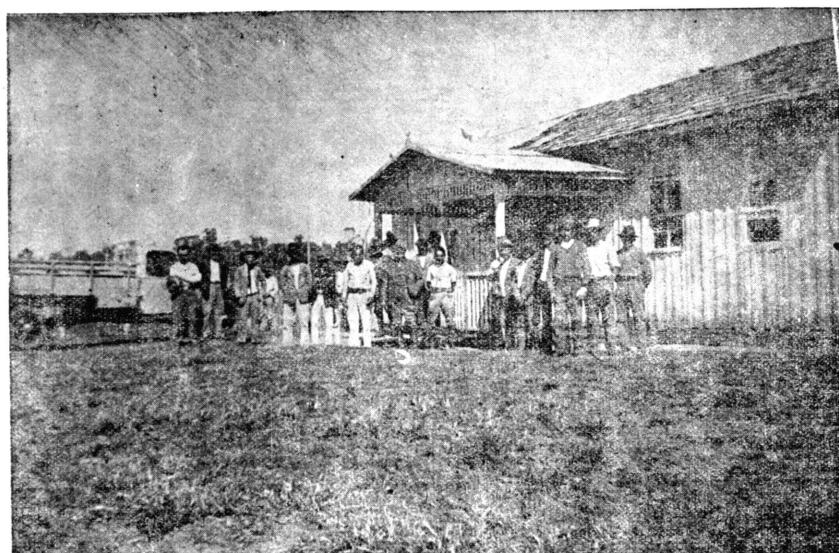


マネパナラバ ダンゼアフ

ドーヤシマ タスコ・ダ・ノーエビラ ルートド



(氏間が印〇察視を態状地現ら自氏ドーヤシマ・タスコ主地)



(スーアとヨリーミの作豊のせ栽培の人邦に景背を林始原大)

今般當キングホテルは中央自拔の場所
二階建の新築に移り内容外觀共にノ
ロ線最大の旅館として御目見得致す事
命に應ずる事になりましたから何卒御
諸賢の御引立を御願致します

正男氏を主任にお願し、總ての御用
を假事務所致し、お馴染みの 北原
一雄



昨年度入植せる邦家より次原令休り仰ぐ

者約契植入の月一

河木秋吉氏 梅寺西モ木瀬小藤齊田新中栗高戸坂吉吉
田村月江原田バ田村ミ木村瀬瀬瀬ウ中谷山谷木田本川ガ
ス登ナイス国音定爲庄ル證國正忠儀真サケラ
部平二重湖基州雄基古則義降基上次雄一衛到一吾ス子
明雄次平男行スベラ
ノス地方代理人を引受御希望の御諸賢
の御用命に應じて居ります

★スレーケルア百六約の中約豫今★

ノロエステ線全線に亘り代理人
志賀 大久保伊樂 内田 進 古川 祐志
利德 宗政 覚 桑森 旅館

★地方代理八
E/SCRIPTORIO "JOOMA" LTDA,
Rua Felipe de Oliveira, 21 - C. Postal, 4418 Tel. 2-7609
São Paulo

部地士務所相馬

★契約ご同時にアルケール宛三十ミルの手付金
及び二十ミルの測量費を拂ひ

★本年五月三十日につきの一回百ミルを充たす(手付金)

☆百ミルレース 昭和十五年五月三十日 無利子
☆百ミルレース 同 十六年五月三十日 同
☆百ミルレース 同 十七年五月三十日 同
同 十八年五月三十日 同

★地標はお望みに應じ何時でも與ふ

●無資本の方にも特に御相談に應じます

この機を逸せず
速刻申込まれよ
一千五百アルケレスに限り
一アルケール
五百ミル

今や名實共に我等の永住地として一躍邦人間に刮目されるバラナバ
ネマ分譲地は短時日にして二千アルケレスといふを大な契約をみ今尙譲
々さ視察申込みが殺倒する有様で、特典附である第一回分譲地區は既に賣
り切れ止むなく地主と交渉の結果更に一千五百アルケレスに限り同條件
を以つて分譲の承諾を得たのである
二度と再び得られない、かかる好條件にめぐまれそして最も百姓道に則し
た永住すべき地は此處ぞ遠くミナス州より數家族の視察者、契約者があ
り又アレンダメントの契約期間を放置して迄入植契約をされる等枚舉に暇
がない程で之等は實に理想の地としてバラナバネマを裏書するものである
事實比類ない大原始林を目前に見、現在入植されてゐる方々の栽培されて
ゐる諸作物を見聞すれば我々代理人の説明などは全く贅言であらう。
★ガルサ。マリ、ア。バストスの三ヶ所より十五人以上の視察者が揃ひ次
第植民地専用カミニオンV8にて直接分譲地へ御案内致します
十一日にはバストス。マリリテ。在住の方三十名がガルサより出發さ
れます

者約契植入の月二十

有白瀬瀬井栗山中林九山田木見田水木田田質知
山田水田水田水田水田水田水田水田水田水田水田
佐次利清貞高正國善孝敏健義牛之助安留則民宗徳光
助郎光古雄基部猛繁心熊繁久松助藏鶴治山三政光

アルケレス

の者植入者察視地民植當
すまり居てし待御を用命御

マネパナラバ ザー島 鮎旅館

會商弟兄保久大

一廿街ラベリオ・デ・ヘツリエフ市墨
八一四四函郵 九〇六七二 話電